



い き い き

松前町立北伊予小学校
学校通信 第411号
令和7年10月17日

-----読書にいい季節です!-----

司書教諭

だんだんと涼しく活動しやすい季節になってきました。10月27日から11月9日までは、秋の読書週間です。第79回読書週間の標語は『こころとあたまの、深呼吸。』です。標語の作者は、「めまぐるしい日常に息が詰まるとき、私は本を開きます。心が震え、ため息をつく。ハッと気がつき、息をのむ。ひと息ついて、まためくる。そうしてこころとあたまに酸素が満ちたら、どこまでも遠くへ泳いで行ける気がします。」という読書に対する思いを込めているそうです。最近の子どもたちの身の回りでは、電子メディアの普及により、動画で情報を得たり映像を楽しんだりすることが増えてきました。そのため、本を手にする機会や時間も減ってきているように感じます。そこで、学校では、朝読書の時間を設けたり、読書ボランティアの方によるお話会やブックトークなどの取り組みを行ったりして、北伊予っ子が、いろいろな本に触れる体験を重ねることができるよう読書活動を推進しています。この秋、少し疲れたら本を広げて、家族でのんびり読書に親しんでみてはいかがでしょうか？学級文庫や読書センターの本などを読んで、いろいろな本から受けた刺激を友達と楽しそうに伝え合っている子どもたちの笑顔を増やしていきたいと思っています。今年の「読書週間」が、一人ひとりに読書の楽しさやすばらしさを知ってもらおうきっかけになることを願っています。



-----AI (人工知能) 時代に子どもを守るために-----

情報教育主任

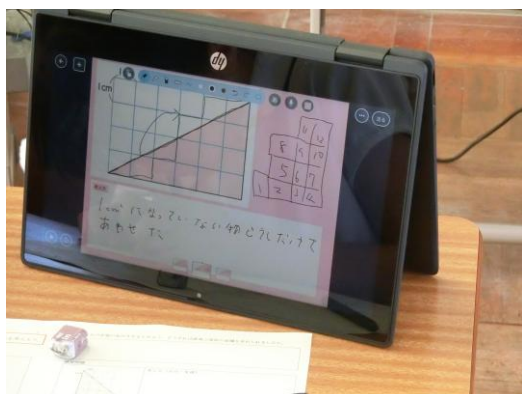
文部科学省の「GIGA スクール構想」によって、全国の小・中学校に一人一台の学習端末が整備され、学習の幅が大きく広がっています。特に近年、AI が急速に普及し、生成 AI のように文章や画像を瞬時に作り出す技術は、学習を豊かにする大きな可能性を秘めています。

しかしその一方で、子どもたちが思わぬトラブルに巻き込まれる危険性も高まっています。

例えば、AI のディープフェイクと呼ばれる技術により、偽の画像や動画が誰でも簡単に、極めて精巧に作成できるようになりました。また、個人情報や機密性の高い情報をインターネット上に入力すると、意図せず外部に漏洩し、悪用されるリスクがあります。

学校では、自分や友だちの画像、個人情報などを安易に入力しないこと、そして、ネット上の情報や映像が必ずしも正しいわけではないということを理解し、メディア・リテラシーと危機管理能力を身につけられるよう指導してまいります。

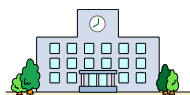
ご家庭におかれましても、お子様がトラブルなく安全にインターネットを利用できるよう、見守りと声掛けをお願いいたします。



-----特別支援教育から-----

特別支援教育コーディネーター

1 学校全体での支援



学校全体で連携・協力した支援を行っています。校内委員会の開催や学校生活支援員の支援、「いきいき学習」の充実や松前小や岡田小の「通級指導教室」との連携、保護者の方々との情報交換を心掛けています。一人一人の子どもの個性や能力・可能性を伸ばすために、得意な面を生かして自己肯定感を高め、思いを伝え合う活動を取り入れて、将来の自立のために、学校と家庭で共通理解を図り共に考えていきます。

2 幼稚園や保育所、中学校、外部機関との連携による支援



松前町の巡回相談や教育相談、支援シートや個別の教育支援計画（松前パッケージ）などを通して、スムーズに小学校生活や中学校生活を送ることができるよう連携しています。

★ お気軽に学級担任や特別支援教育コーディネーターまでご連絡ください。